令和４年度

授業概要

SYLLABUS

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生命倫理			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前期	単位	2　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際メディカルテクノロジー専門学校、佐藤レスキュープラン）	
一般目標 （GIO）	・医療現場で重要な課題となっている生命倫理の諸問題について考察し、倫理的感性を養う。				
行動目標 （SBOs）	・生命倫理の諸問題に関する理解を深める。 ・医療現場での倫理について理解を深める。				
授業概要	1. オリエンテーション 生命倫理学とは 第1回課題 2. 第2回課題 3. 第3回課題 4. 第4回課題 5. 第5回課題 6. 第6回課題、プレテスト（確認問題） 7. 第7回課題 8. 第8回課題 9. 第9回課題 10. 第10回課題 11. 第11回課題 12. 第12回課題 13. 第13回課題 14. 第14回課題 15. 第15回課題　まとめ				
学習方略 （LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	講義毎に実施するレポート及び最終試験（筆記試験）の合計で評価を行う。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。（担当教員がその都度、資料を準備）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	心理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	下舘　浩 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標 （GIO）	・人の心について、知る。 ・心はわかりきることができないという事を解る。 ・心の深さを感じる。				
行動目標 （SBOs）	・心理学についての概略を知る。 ・病理心理について理解する。 ・心療内科と精神科の対象の別を理解する。 ・心理テストを経験する。				
授業概要	1.　心について 2.　意識と無意識 3.　防衛機制 4.　病理心理 5.　心療内科と精神科の違い 6.　心理療法 7～8. 心理テストの実技体験 以上を知る。				
学習方略 （LS）	・学生それぞれの実体験を引用しつつ、心理学を理解できるよう講義する。 ・心理テストは、YG 検査を体験する。				
学習評価 （EV）	・期末試験は筆記で行う。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ				
参考書	（特に指定しない）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	教育学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	高橋　雄也 takahashi.y@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	介護福祉士（金ヶ崎町社会福祉協議会）	
一般目標 （GIO）	教育の本質、目的、内容、方法、制度、行政など、教育現象のさまざまな分野・問題について学習し、教育現象の全体的構造を統一的に「教育人間学」として把握する。				
行動目標 （SBOs）	1. 高等教育での自らの人間学の向上に役立てる。 2. 教育の場において、自分自身を客観的に理解することが出来る。 3. 社会教育、医学教育の理解を深める。				
授業概要	【 講義予定 】 1. オリエンテーション、教育学概要 「教育・指導」 2. 教育学的観点から、自分を顧みる 「人間と社会」 3. 人間の本性そのものが教育を必要としている 「教えると伝える」 4. 人間は、「生理的未熟児」 5. 教育とは、社会の維持と存続のための機能 「学校教育構造と不登校問題」 6. 読む力　想像する力　表現する力 7. グループディスカッション・プレゼンテーション 8. まとめ、レポート				
学習方略 （LS）	グループ、および個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	課題レポートとグループディスカッション、プレゼンテーションで総評する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	教育学原論（教育の本質と目的）　牛渡　淳　著　「中央法規」				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	社会学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	高橋　雄也 takahashi.y@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	介護福祉士（金ヶ崎町社会福祉協議会）	
一般目標 （GIO）	一般社会の仕組みを理解しながら、様々な視点で物事を捉える力を身につける。				
行動目標 （SBOs）	1. 社会について学び、自分もその一員であることを理解する。 2. 現代社会の特性を理解する。 3. 生活の多様性について理解する。 4. 人と社会の関係について理解する。 5. 社会問題とその背景について理解する。				
授業概要	社会の捉え方、視点の持ち方を学び、PT としての在り方を考える。 1. 社会学の歴史と社会システム 2. 組織と集団　人口・グローバリゼーション 3. 社会変動・地域・環境 4. 社会的格差・社会政策・社会問題 5. 差別と偏見・災害と復興 6. 家族とジェンダー・健康・労働・世代 7. 自己と他者・社会化 8. 相互行為・まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	法　学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　　前期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	社会生活における身近な事例や、理学療法士・リハビリ職が遭遇する事件や法律の事例を挙げながら、自己の考えと他人の考えを理解し、自己の行動思考につなげていく。				
行動目標 （SBOs）	1、法学の基礎的な仕組みと全体構造を他者に説明することができる 2、基本的な法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 3、経済や経営に関係の深い法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 4、社会的な問題について、自分の意見を表明することができる				
授業概要	1. ガイダンス、法と人間とのかかわり、法を学ぶ意義 2. 理学療法士に関する法 3. 法とは何か、規範としての法、道徳と区別される法 4. 法体系論の基礎知識、法の種類と構造 5. 法の定義、法律の分類、法規分類 6. 法の解釈、法律の本当の意味 7. 法の効力、範囲と土地と時 8. まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度にて評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし 資料を配布				
参考書	理学療法士ガイドライン（公益社団法人日本理学療法士協会）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	対人関係論			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	下舘　浩 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標 （GIO）	・対人の仕事であるリハビリテーション業務に関して、病気や不自由さを想像する力を養う。 ・心理学を基礎にしながら、人について考える。				
行動目標 （SBOs）	・人の内面についての考察を深める。 ・対人の仕事について考える。 ・身体の問題を抱えることと、それに関わる心の反応について考える。 ・理学療法士に必要な人間性について、自身の考えを持つ。				
授業概要	1～2. 心理学の復習。自分の性格について客観的に考察する。 3～4.「沈黙」を読む。個人と集団に関して考察する。 5～6. ALS について知る。動画を見て、当事者や家族について考える。 7～8. 対人についてのケーススタディ。				
学習方略 （LS）	・基本的には座学で。動画や読書テキストを利用する。				
学習評価 （EV）	・提出物の内容。人について、自分についての理解度の深まりを評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	（不要です）				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	物　理			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	下舘　浩 0		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標 （GIO）	・理学療法に必要な物理学がわかること。				
行動目標 （SBOs）	・気圧と水圧がわかる。 ・水の性質がわかる。 ・てこの原理がわかる。 ・ベクトルがわかる。				
授業概要	1. 気圧について 2. 水圧について 3. 浮力について 4. 水の（身体への）生理作用について 5. てこの原理について 6. ベクトルについて 7. 関節運動について 8. 国家試験対策				
学習方略 （LS）	・座学、物理学の基礎を主体に講義。				
学習評価 （EV）	・期末試験は、筆記試験とする。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『PT/OT 国家試験対策ワークブック計算問題』 医歯薬出版株式会社				
参考書	（特に指定しない）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	情報科学			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	高橋　雄也 takahashi.y@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	介護福祉士（金ヶ崎町社会福祉協議会）	
一般目標 （GIO）	医療人（社会人）が共通に備えておきたいコンピューター操作関連などの基礎的知識を理解していく				
行動目標 （SBOs）	1. コンピューターの基礎的操作やデータの処理等を理解する 2. IT社会の情報を的確に捉えるよう収集できる能力を身に付ける				
授業概要	1. ガイダンス、オリエンテーション 2. データの取扱い【個人、企業情報の保護と注意事項】 3. データの処理法【Excel を用いた処理】 4. コンピューターの基本操作とデータの入力・編集 5. コンピューター 上での文章入力、Windows 上のインターネットブラウザ利用の速やかな操作ができる 6. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる① 7. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる② 8. 表計算ソフトを使用し、数式や書式設定を応用した表やグラフを作成・操作できる				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度で評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	保健体育Ⅰ			授業区分	実技
学年・時期	1 年　前期	単位	2　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	高橋　雄也 takahashi.y@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	介護福祉士（金ヶ崎町社会福祉協議会）	
一般目標 （GIO）	スポーツを通じて、身体を動かすことの大切さを学習することができる。				
行動目標 （SBOs）	1. 保健の意義について理解する。 2. 体育及びレクリエーション活動の社会的意義を理解する。 3. 体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 4. 体育指導及びレクリエーション活動援助の実技を通じて計画作成能力・実践能力を習得向上させる。				
授業概要	1　オリエンテーション 2～14　実技及びディスカッション 15　まとめ ※身体を動かすことが多いため、各自服装を準備すること。 ※コロナ感染対策のため、活動場所を分散する等しながら実施する。 ※中履き、外履きどちらも準備すること。				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習を実施する。				
学習評価 （EV）	実技 25%、提出物および取組態度 25%、レポート課題および実践発表等 50%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	保健体育Ⅱ			授業区分	演習
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	8 回　（ 15　時間）
担当教員 mail	高橋　雄也 takahashi.y@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	介護福祉士（金ヶ崎町社会福祉協議会）	
一般目標 （GIO）	競技特性の理解と特性から見る疾患について把握しする。				
行動目標 （SBOs）	実技およびグループ演習を中心とした講義を実施するため、積極的に参加することを期待する。				
授業概要	1　　スポーツにおけるリスク管理について 2～5　実技およびディスカッション（パラスポーツ、ニュースポーツ） 6　　応急処置について 7～8　　スポーツ指導及び計画について ※身体を動かすことが多いため、各自服装を準備すること。 ※コロナ感染対策のため、活動場所を分散する等しながら実施する。 ※中履き、外履きどちらも準備すること。				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、実技にて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	実技への参加度および実技グループ演習発表内容による。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	適宜紹介する				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	英　語			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前期	単位	2　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	菊池　敦子 0		実務経験 の 内 容	0	
一般目標 （GIO）	・医療現場で使用する英語の基礎を習得する				
行動目標 （SBOs）	・医療に関する英語表現を学ぶ。 ・相手の立場に立ったシンプルで分かりやすいコミュニケーションを身につける。				
授業概要	1 オリエンテーション、 UNICEF の英文記事を読む 2 医療現場での基本会話（1） 3 体の部位の名称、問診票 4 骨の瞑想、理学療法士に関する英文を読む 5 筋肉の名称、理学療法士に関する英語を聞き取る 6 傷の種類と症状、基礎的な検査に必要な英語表現 7 精密検査に必要な英語表現 8 リハビリテーションに必要な英語表現 9 院内（校内）の設備を案内する 10 治療（授業）について説明する 11 医療現場での基本会話（2） 12 医療現場での基本会話（3） 13 理学療法に関する英文を読む 14 ロールプレイ（復習） 15 復習とまとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ロールプレイ、プロジェクトワーク等により実施する。				
学習評価 （EV）	筆記試験70%、取り組み態度30%により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし　資料を配布				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前・後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。				
行動目標 （SBOs）	・基本的な解剖構造と名称が説明できること。 ・解剖学的用語を用いて説明できること。				
授業概要	1. 解剖学総（P3～P26） ・人体の大要（P　5） ・解剖学用語（P　5～P　6） ・人体の構成（P　8） ・発　生　（ P19） 2. 循環器系（P339～P361） ・血管系　（P339） ・リンパ系　（P359） 3. 感覚器系（P327～P337） ・外　皮　（P327） ・視覚器　（P330） ・平衡聴覚器（P334） ・嗅覚器　（P337） ・味覚器　（P337） 4. 神経系（P239-P322） ・総　論　（P239） ・中枢神経系（P250） ・末梢神経系（P284）				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「解剖学」第 4 版				
参考書	カラー人体解剖学（西村書店） 系統看護学講座　解剖生理学（医学書院）　人体解剖カラーアトラス（南江堂）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前・後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。				
行動目標 （SBOs）	・基本的な解剖構造と名称が説明できること。 ・解剖学的用語を用いて説明できること。				
授業概要	2. 骨格 1、骨格総論 （P37） ・ A 骨の形態 （P37）　・ D 骨の機能 （P41） ・ B 骨の構造 （P39）　・ E 骨の発生 （P41） ・ C 骨の血管と神経 （P41）　・ F 骨のリモデリング （P44） 2、骨格各論 ・ A 頭蓋 （P46）　・ D 上肢の骨 （P68） ・ B 脊柱 （P58）　・ E 下肢の骨 （P78） ・ C 胸郭 （P65） 3. 関節と靭帯 1、関節・靭帯総論 ・ A 骨の連結 （P97）　・ B 関節の構造と機能 （P99） 2, 関節・靭帯各論 ・ A 頭蓋の連結 （P113）　・ C 上肢の連結 （P123） ・ B 脊柱、脊柱と頭蓋および胸郭の連結 （P114）・ D 下肢の連結 （P137） 4. 筋系 1、筋系総論：筋組織の種類と特徴、骨格筋の構造、骨格筋の作用、 神経支配 （P161～P175） 2、筋系各論：体幹の筋、上肢の筋、下肢の筋 （P177～P228）				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「解剖学」第 4 版				
参考書	カラー人体解剖学（西村書店） 系統看護学講座　解剖生理学（医学書院）　人体解剖カラーアトラス 骨単・肉単(エヌ・ティー・エス)				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅱ			授業区分	講義
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。				
行動目標 （SBOs）	・基本的な解剖構造と名称が説明できること。 ・解剖学的用語を用いて説明できること。				
授業概要	「内臓学」 1. 内臓器官の構造 2. 消化器系 3. 呼吸器系 4. 循環器系 5. 泌尿器系 6. 生殖器系 7. 内分泌系				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	小テスト結果、及び前期テスト結果で総合評価する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学解剖学　第4版				
参考書	カラー人体解剖学（西村書店） 系統看護学講座　解剖生理学（医学書院）　人体解剖カラーアトラス				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生理学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。				
行動目標 （SBOs）	基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。				
授業概要	1. 生命現象と人体　（P3～P11） 2. 細胞の構造と機能　（P13～P16） 3. 神経の興奮伝導と末梢神経（P19～P28） 4. 中枢神経　（P30～P46） 5. 筋と骨　（P49～P164） 6. 感覚　（P66～P77） 7. 血液　（P81～P94） 8. 心臓と循環　（P96～P122） 9. 呼吸とガスの運搬　（P124～P135） 10. 尿の生成と排泄　（P137～P145） 11. 酸塩基平衡　（P147～P148） 12. 消化と吸収　（P150～P160） 13. 内分泌　（P162～P174） 14. 代謝と体温　（P177～P186） 15. 生殖と発生　（P188～P198） 16. 運動生理　（P201～P206）				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」 第 5 版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生理学Ⅱ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。				
行動目標 （SBOs）	基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。				
授業概要	1. 生命現象と人体　（P3～P11） 2. 細胞の構造と機能　（P13～P16） 3. 神経の興奮伝導と末梢神経（P19～P28） 4. 中枢神経　（P30～P46） 5. 筋と骨　（P49～P164） 6. 感覚　（P66～P77） 7. 血液　（P81～P94） 8. 心臓と循環　（P96～P122） 9. 呼吸とガスの運搬　（P124～P135） 10. 尿の生成と排泄　（P137～P145） 11. 酸塩基平衡　（P147～P148） 12. 消化と吸収　（P150～P160） 13. 内分泌　（P162～P174） 14. 代謝と体温　（P177～P186） 15. 生殖と発生　（P188～P198） 16. 運動生理　（P201～P206）				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」 第 5 版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	薬理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際メディカルテクノロジー専門学校、佐藤レスキュープラン）	
一般目標 （GIO）	・医療現場で必要な薬理に関する事を理解する。特に理学療法士として必要な末梢神経作動薬、中枢神経作動薬を中心に薬物がもたらす効果および副作用を理解する。				
行動目標 （SBOs）	・薬物一般に共通する知識を理解する。 ・薬物の投与経路、作用、副作用について理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、薬理学総論 2. 薬が作用する仕組み（薬力学） 3. 薬の体内挙動（薬物動態学） 4. 薬物相互作用（吸収・分布・代謝・排泄） 5. 神経系による情報伝達 6. 自律神経系作用薬 7. 交感神経作用薬（アドレナリン作動薬、抗アドレナリン薬） 8. 副交感神経作用薬（コリン作用薬、抗コリン薬） 9. 筋弛緩薬、局所麻酔薬 10. 中枢神経系のはたらきと薬物 11. 催眠薬、抗不安薬 12. 抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬 13. パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬 14. 循環器系に作用する薬物 15. まとめ				
学習方略 （LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　薬理学（疾病のなりたちと回復の促進③）　吉岡充弘　他　「医学書院」				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	病理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際メディカルテクノロジー専門学校、佐藤レスキュープラン）	
一般目標 （GIO）	・炎症、変性、循環障害などが身体にどのような変化をもたらすか理解する。特に理学療法士に必要な主要病態・疾病について理解する。				
行動目標 （SBOs）	・病気の原因、成り立ち、発生機序を理解する。 ・医学専門用語を理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、病理学総論、病気の原因（内因、外因） 2. 公害病・医原病・職業がん 3. 細胞の損傷とその原因、 4. 組織の修復と創傷治癒 5. 循環障害（循環系の概要、浮腫、充血とうっ血） 6. 循環障害（出血、血栓症、塞栓症、虚血と梗塞） 7. 側副循環による障害 8. ショック（ショックの分類・症状・病態） 9. 高血圧症（血圧の調整、高血圧の分類、高血圧による変化と治療） 10. 循環系疾患（血管の疾患） 11. 循環系疾患（心臓の疾患） 12. 呼吸器系疾患（鼻腔、咽頭、喉頭の疾患） 13. 呼吸器系疾患（気管、気管支、肺の構造と機能） 14. 消化器系の疾患（口腔。食道の疾患、胃の疾患など） 15. まとめ				
学習方略 （LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座　専門基礎分野　病理学（疾患の成り立ちと回復の促進①）　大橋健一　他　「医学書院」				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	人間発達学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	・誕生から死までの全生涯のライフスタイルを通して、人間がどのように発達していくかを学ぶ。				
行動目標 （SBOs）	人間がどのように発達するのか、どのような要因が発達に影響するのかを説明できる。 1　人間発達学の対象領域について説明できる 2　各期の発達について説明できる 3　各機能の発達について説明できる				
授業概要	Ⅰ　発達の概念 Ⅱ　発達理論 Ⅲ　発達検査 Ⅳ　姿勢反射・反応 Ⅴ　運動発達 Ⅵ　姿勢反射 Ⅶ　上肢機能 Ⅷ　ADL の発達 Ⅸ　感覚・知覚・認知・社会性の発達 Ⅹ　学童・青年・成人・老年期の発達				
学習方略 （LS）	教科書のイラストを参考に、正常発達をイメージしながら学習すること。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	イラストでわかる人間発達学　医歯薬出版				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床心理学			授業区分	講義
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　崇弘 baachii52@gmail.com		実務経験 の 内 容	0	
一般目標 （GIO）	・臨床心理学の基礎知識を理解し,コミュニケーション・対人理解に応用できること				
行動目標 （SBOs）	臨床心理学のものの見方,言葉を用いることができるようになる。				
授業概要	以下の大項目について学習を進めていく 第Ⅰ部　臨床心理学の扉を開く―臨床心理学とは― 第Ⅱ部　心理援助の実際にふれる―事例に学ぶ問題の理解とかかわり― 第Ⅲ部　心理援助の基礎を学ぶ―発達・人格理論― 第Ⅳ部　対象を理解する―心理アセスメント― 第Ⅴ部　心理援助の方法を知る―心理療法―				
学習方略 （LS）	講義の聴講と体験学習を通して臨床心理学の知識・技術を習得する				
学習評価 （EV）	小テスト,最終テスト,レポート,授業態度を総合的に評価し,判断する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	心とかかわる臨床心理　第 3 版				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	公衆衛生学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	佐藤　武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士（国際メディカルテクノロジー専門学校、佐藤レスキュープラン）	
一般目標 （GIO）	・疫学、保健統計などの医療職種として必要な公衆衛生の基礎を理解する。またコメディカルスタッフとしてチーム医療を行えるよう医療制度や他職種の理解を深める。				
行動目標 （SBOs）	・疫学、保健統計の基礎知識を理解する。 ・医療制度の基礎知識を理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、公衆衛生と健康の概要 2. 疫学 3. 保健統計 4. 医の倫理と患者の人権 5. 医師法と関係法規 6. 診療情報と各種証明書 7. 終末期医療と死の概念 8. 医療の質と安全の確保 9. 医療法と医療体制 10. 社会保障と医療経済 11. 地域医療 12. 成人保険と健康増進（健康増進法、健康日本21、生活習慣ｖ病対策、がん対策） 13. 母子保健 14、高齢者保健、障碍者福祉 15、まとめ				
学習方略 （LS）	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	公衆衛生がみえる　2020－2021　石川雅俊　他「MEDIC　MEDIA」				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	医学概論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	岩渕　隆俊 e.bouzu@gmail.com		実務経験 の 内 容	理学療法士（霞が関南病院、介護老人保健施設せんだんの丘）	
一般目標 （GIO）	・現在の医療におけるリハビリテーションの位置づけを知る。 ・リハビリテーションの歴史を知る。				
行動目標 （SBOs）	・リハビリテーションについて、その本質を理解する。 ・病院について、急性期・回復期・維持期を理解する。 ・医療保険医療と介護保険施設の区別ができる。 ・理学療法士について、その役割を深く理解する。				
授業概要	1. 医療の中におけるリハビリテーションの立ち位置。 2. リハビリテーションについて。 3. 理学療法士について。 4. 理学療法について。 5. 病院でのリハビリテーションの構造・性質について。 6. 病院と施設、医療保険と介護保険の違いについて。 7～8. 理学療法の実際について体験する。				
学習方略 （LS）	・座学講義主体で、動画などを用いて実際を知る。 ・後半は、実技体験を行う。				
学習評価 （EV）	・レポート提出。その内容で、理解度を評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション医学テキスト　改訂第5版				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	内科学・老年学			授業区分	演習
学年・時期	1 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	広く、リハビリテーションと関わりの深い内科疾患と老年学を学び、理解する。				
行動目標 （SBOs）	リハビリテーションと関わりの深い内科疾患について、説明することができる。				
授業概要	1. 内科学とは・内科学の概念（P2～P4） 2. 内科的診断と治療の実際（P6～P36） 3. 症候学（P38～P54） 4. 循環器疾患（P55～P97） 5. 呼吸器疾患（P102～P139） 6. 消化器疾患（P142～P172） 7. 肝胆膵疾患（P174～P200） 8. 血液・造血器疾患（P201～P226） 9. 代謝性疾患（P228～P249） 10. 内分泌疾患（P251～P267） 11. 腎・泌尿器疾患（P270～P295） 12. アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症（P297～P319） 13. 感染症（P321～P339）				
学習方略 （LS）	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 （EV）	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。前期テスト結果,および後期テストで総合評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「内科学 」第 3 版、「老年学」第 3 版				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	整形外科学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	整形外科学疾患の病態と治療法、リハビリテーションを理解する				
行動目標 （SBOs）	リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。				
授業概要	＜授業内容予定＞ 1、整形外科基礎知識 2、運動器の評価および検査法 3、整形外科的治療法 【整形外科疾病論】 4、炎症性疾患 5、代謝・内分泌疾患、退行性疾患 6、先天性骨・関節疾患 7、循環障害と壊死性疾患 8、骨・軟部腫瘍 、神経・筋疾患 10、脊椎の疾患 【外傷性疾患】 11、骨折 12、脊髄損傷 13、関節における外傷性疾患 14、末梢神経における外傷性疾患 15、腱・靭帯における外傷性疾患 16、スポーツ傷害 17、熱傷 18、切断および離断 19、画像の読影				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「整形外科学　」第 4 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	整形外科学Ⅱ			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	三谷　典生 ahpta2017@yahoo.co.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（衣笠病院、一関病院）	
一般目標 （GIO）	解剖学・生理学・運動学の知識をベースに、整形外科領域の疾患における病理的特徴、 疾患ごとの医学的な治療方法が理解できるようになる。				
行動目標 （SBOs）	・年齢ごとに罹患する疾患の特徴、重症度や受傷起点における相違を理解できる。 ・疾患に対する包括的な知識を持ち、理学療法実施における評価法・治療方法を羅列する事ができる。 ・個々における筋骨格的な変容について、解釈をし治療に結び付けることができる。				
授業概要	1:.国家試験の傾向からみた整形外科領域の知識 2:整形外科的基礎知識 3:運動器の評価及び検査法 4:炎症性疾患 5:代謝・内分泌性疾患、退行性疾患 6:先天性骨・関節疾患 7:循環障害と壊死性疾患 8:骨・軟部腫瘍 9:神経・筋疾患 10:脊椎の疾患 11:骨折 12:脊髄損傷 13:関節における外傷性疾患/末梢神経における外傷性疾患 14:腱・靭帯における外傷性疾患/スポーツ傷害 15:熱傷/切断および離断第				
学習方略 （LS）	座学の定着が図りやすいように実例を通した提示、模擬的な症例提示を行う。イメージをしやすいよう、 要所で VTR の資料も用いる。また、勉強のポイントが定かになるよう、重点項目や重要性などの重みづけ を行い、学習の効率化を図る。				
学習評価 （EV）	定期テストにて総合的に評価				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学　整形外科学（医学書院）第4版				
参考書	理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説　2022 医歯薬出版				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	神経内科学・脳外科学			授業区分	講義
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	佐藤　博志 h-sato@ccube-station.com		実務経験 の 内 容	理学療法士（ボバース記念病院、栃内第二病院、八角商店シーキューブ）	
一般目標 （GIO）	・脳の機能と運動障害の関係についての整理 ・運動障害の原因となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の教授 ・リハビリテーションを行う意義についての理解を主な目的としている				
行動目標 （SBOs）	・脳血管障害をはじめとした脳の損傷の状態を理解し、説明することができる。 ・様々な症状や徴候を示す機能的背景を理解し、臨床推論過程に応用できる。				
授業概要	1. 中枢神経理学療法の基礎知識 2. 運動と感覚の中枢機能と構造 3. 脳損傷の定義と病態 4. 脳損傷とその回復 5. 脳血管障害における医学管理 6. 脳血管障害におけるリハビリテーション 7. 脳血管障害後の運動障害 8. 脳血管障害後の運動学習 9. 脳血管障害後の歩行機能の再建 10. 脳血管障害後の上肢機能 11. 脳血管障害後の合併症 12. 脳血管障害後の高次機能障害 13. 脳血管障害における理学療法の実際 14. 脳の構造と機能（大脳基底核） 15. 脳の構造と機能（小脳） 16. 脳の構造と機能（脳幹） 17. パーキンソン病の病態とリハビリテーション 18. 失調症の病態とリハビリテーション 19. 頭部外傷・脳腫瘍 20. 多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症				
学習方略 （LS）	・講義を中心に図説を多く取り入れながら、脳の機能をイメージ出来る様に学ぶ。 ・実際の患者像をイメージ出来る様に、動画等を取り入れながら学ぶ。 ・部分的に臨床像の運動分析の視点に向けた実技を通じて学ぶ。				
学習評価 （EV）	・基礎知識のテストで評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特に指定なし				
参考書	・標準理学療法学・作業療法学（第 5 版）「神経内科学」（医学書院） ・神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ（中山書店）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	精神医学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・精神医学の特色を身体医学との比較で学ぶ				
行動目標 （SBOs）	・精神疾患の病態、症状、治療法を理解する ・臨床で必要とされる精神医学の知識を身につけ病気と障害を持ちながらの生活を支える技術を学ぶ。 ・患者・障害者の心に共感し、健康な心の部分を捉える能力を養う				
授業概要	第 1 章「精神科医療、精神医学とは何か」 第 2 章「精神科の病気とその症状」 ・神経症とストレス関連障害 ・心身症 ・統合失調症 ・気分障害(感情障害) ・外因性精神障害(身体因性精神障害、広義の器質性精神障害) ・器質性精神障害 ・物質関連障害群、物質依存 ・てんかん ・老年期精神障害 ・児童・青年期の精神障害 ・知的能力障害(知的発達症/知的発達障害) ・パーソナリティ（人格）障害 3. 第 3 章「精神科の治療法」				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	はじめての精神医学　渡辺雅幸　改訂第 2 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	運動学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	一連の臨床思考過程において、異常を運動を見極める観察力と思考力をを身につけることができる				
行動目標 （SBOs）	1　身体運動の記述と解釈に必要な力学の基礎知識を理解できる 2　運動する上で体力と運動負荷の関係を理解できる 3　事例を通して評価・治療の臨床思考を理解できる				
授業概要	1　生体力学 2　体力と運動負荷 3　運動学と評価・治療・クリニカルりーズニング				
学習方略 （LS）	臨床場面で理学療法士は運動の異常を評価し、その原因を探り、治療方法を決定します。その基礎を実技を通して学習すること				
学習評価 （EV）	各単元ごとの小テストと実技試験で総評する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	シンプル理学療法学シリーズ「運動学テキスト」改訂第 3 版 基礎から学ぶ運動学ノート　医歯薬出版㈱				
参考書	配布する資料				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	小児科学			授業区分	講義
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	・リハビリテーションと関わりのある疾患について、理解し説明することができる。				
行動目標 （SBOs）	人間発達学で学習した内容を踏まえて、理学療法士として特に臨床場面で携わる疾患の症状と治療について説明できる。				
授業概要	1　理学療法士と小児科学のかかわり 2　小児科学概論 3　診断と治療の概要 4　新生児・未熟児疾患 5　先天異常と遺伝病 6　神経・筋・骨系疾患 7　循環器疾患 8　呼吸器疾患 9　感染症 10　消化器疾患 11　内分泌・代謝疾患 12　血液疾患 13　免疫・アレルギー疾患・膠原病 14　腎・泌尿器系・生殖器疾患 15　腫瘍性疾患 16　習癖・睡眠関連病態・心身医学的疾患・虐待 17　重症心身障がい児 18　眼科・耳鼻科的疾患				
学習方略 （LS）	内科学や整形外科学の知識を共有しながら学習すること。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「小児科学」第 5 版				
参考書	標準理学療法学・作業療法「内科学 」第 3 版、「老年学」第 3 版 標準理学療法学・作業療法「整形外科学 」第 4 版				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	栄養学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	小原　粒子 0		実務経験 の 内 容	管理栄養士（老人保健施設きぼう苑、ケアハウス千鳥苑、特別養護老人ホームぶなの園、一関病院）	
一般目標 （GIO）	近年リハビリ対象者（高齢者）に低栄養やサルコペニアが増加している。栄養状態を良好に保ち、適切な栄養管理下での積極的なリハビリは、筋力アップにつながり、さらなる ADL の改善につながものである。また口腔機能の維持・向上に関心を持ち、栄養状態が及ぼすリハビリの効果を理解することを目的とする。				
行動目標 （SBOs）	1.栄養素について理解する 2.栄養素の消化・吸収・代謝について理解する 3.エネルギーの代謝・エネルギーの消費について理解する 4.チーム医療の仕組み、栄養ケアマネジメントについて理解する 5.臨床栄養・病態別栄養管理について理解する 6.リハビリテーション栄養の全体について理解する				
授業概要	①人間栄養学 ②栄養素の種類とはたらき ③食物の消化と、栄養素の吸収・代謝について ④エネルギー代謝 ⑤食事と食品 ⑥栄養ケアマネジメント ⑦栄養状態の評価と判定 ⑧ライフステージにおける栄養管理 ⑨臨床の場における病態栄養 ⑩リハビリテーション栄養の必要性と実際について ⑪口腔機能と栄養の関わり ⑫心身内科学と栄養の関わり ⑬慢性疾患患者に対する低栄養対策 ⑭在宅支援における栄養の役割 ⑮実症例をもとにした、栄養アセスメントと栄養ケアプランの作成 ⑯国家試験の傾向と対策				
学習方略 （LS）	教科書を中心に授業する。実際の臨床の現場で行われている内容を適宜取り入れる				
学習評価 （EV）	定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	2021 年版「系統看護学講座」 専門基礎分野　人体の構造と機能[3]　栄養学　　（医学書院）				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	リハビリテーション概論（理学療法概論）			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　　前・後期	単位	3　単位	回数・時間数	45 回　（ 90　時間）
担当教員 mail	佐々木　成大 sikisainoblues@gmail.com		実務経験の 内 容	理学療法士（初富保健病院、老人保健施設やまゆり）	
一般目標 （GIO）	・医療、リハビリテーションを取り巻く社会背景をよく理解し、見識を深める。				
行動目標 （SBOs）	次の項目を認識、理解する。 ・医療、保健分野の理学療法 ・地域リハビリテーションと理学療法 ・臨床教育の実践 ・理学療法の課題 予習　以下2点が基本的事項になります。 :①理学療法概論テキストを一読する。 ②自分の理解できない部分をチェックしておく。疑問点をメモしておく。				
授業概要	①理学療法の各種技術/グループ学習　学生と社会人の違い ②理学療法の各種技術/振り返り　グループ学習の準備 ③グループ学習（医学・医療・理学療法） ④理学療法の各種技術/医学、医療、理学療法の定義 ⑤理学療法の各種技術/理学療法教育とは ⑥理学療法の各種技術/理学療法士に求められる臨床思考 ⑦理学療法の各種技術/理学療法の実際の流れ ⑧理学療法の各種技術/理学療法士の活躍する場　検索 ⑨医療関連職種についてのグループ学習 ⑩ICF について ⑪ADL について ⑫理学療法に関連する法律 ⑬理学療法士の職能/フィールドワーク ⑭理学療法士の役割 ⑮研究/EBM ⑯レポート課題作成とフィードバック 実技：触診、ランドマーク、動作の見方、姿勢と動作 腰痛予防 各項目の発表もあり				
学習方略 （LS）	実技：触診（皮膚、軟部組織、筋、骨、脈診）、触れ方、ランドマーク、手の使い方、体の使い方				
学習評価 （EV）	・小テスト、実技、グループワーク、課題、学習態度、出席率、期末テストの総合評価				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	「細田多穂　監修：理学療法概論テキスト，改訂第3版，南江堂」				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	社会福祉学			授業区分	講義
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	高橋　雄也 takahashi.y@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	介護福祉士（金ヶ崎町社会福祉協議会）	
一般目標 （GIO）	社会背景の移り変わりに対してどのように社会福祉制度が変化してきているのかを理解し、対人援助する際の視点を持てる				
行動目標 （SBOs）	1. 社会福祉とは何かを理解する。 2. 日本における社会福祉制度について理解する。 3. 介護保険制度について理解する。 4地域福祉について理解する。 5）医療福祉・精神保健福祉について理解する。 6）社会福祉施設の役割について理解する。				
授業概要	1. 社会福祉とは 2. 日本の社会福祉の歴史 3. 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 4. 子ども福祉について 5. 障害者福祉について 6. 高齢者福祉について 7. 介護保険制度と専門職の役割 8. 低所得者福祉について 9. 地域福祉とその推進方法 10. 医療福祉について 11. 精神保健福祉について 12. 社会福祉施設の役割 13. 社会福祉を担う人々 14. 相談援助の目的と方法 15. 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割				
学習方略 （LS）	教科書を中心に講義形式で学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）カテゴリーの精緻化方略を参考とすること。 ※事前に学習方略内容の確認を各自行うこと。				
学習評価 （EV）	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	コメディカルのための社会福祉概論　第 4 版　講談社				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	基礎理学療法総論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	岩渕　隆俊 e.bouzu@gmail.com		実務経験 の 内 容	理学療法士（霞が関南病院、介護老人保健施設せんだんの丘）	
一般目標 （GIO）	・理学療法の基礎として、主に運動療法と物理療法の概略を学ぶ。				
行動目標 （SBOs）	・運動療法と物理療法の概略と違いを理解する。 ・運動療法の基礎として、解剖学・運動学・生理学の概略を理解する。 ・身体構造をイメージしつつ、ランドマークを触診できるようになる。 ・筋肉・骨・関節がわかる。 ・身体運動の基礎を理解し、運動療法のベースを作る。 ・関節可動域と筋力に関して、テスト方法を知る。				
授業概要	1～2.　運動療法と物理療法について。 3～7.　解剖学・運動学・生理学の概略について。 8～12.　身体運動の基礎と、運動療法の基礎について。 13～15.　関節可動域と筋力に関して、実際にテスト方法を体験する。				
学習方略 （LS）	・基本的には、項目ごとに座学の後に実技で知識の定着を図る。				
学習評価 （EV）	・出席状況と、筆記試験にて判断する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・標準理学療法学　専門分野 『運動療法学総論』				
参考書	（評価学と MMT のテキストで）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法研究法Ⅰ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標 （SBOs）	1、研究の意義が説明できる 2、研究過程を説明できる 3、データの解析ができる 4、研究発表ができる				
授業概要	1. 概論　（研究の面白さ、楽しみ、何のために研究をするのか） 2. 研究を始める前に(研究テーマの選び方、研究の仮設立案) 3. 統計学の基本1 4. 統計学の基本2 5. 記述統計学 6. 統計学の確率の考え方 7. 推測統計学の考え方 8. 自主研究1 9. 自主研究2 10. 自主研究3 11. 自主研究4 12. 自主研究5 13. 自主研究6 14. 発表 15. 発表、まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	統計学の図鑑　技術評論社				
参考書	リハビリテーション統計学　中山書店				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法研究法Ⅱ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標 （SBOs）	1、理学療法研究の意義が説明できる 2、理学療法研究過程を説明できる 3、理学療法データの解析ができる 4、理学療法研究の発表ができる				
授業概要	1. オリエンテーション 2. 理学療法研究について① 3. 理学療法研究について② 4. 理学療法学会誌等の紹介① 5. 理学療法学会誌等の紹介② 6. 理学療法学会誌等の自己検索① 7. 理学療法学会誌等の自己検索② 8. 自己研究の作成① 9. 自己研究の作成② 10. 自己研究の作成③ 11. 自己研究の作成④ 12. 自己研究の作成⑤ 13. 研究発表用のパワーポイント貼り付け 14. 研究発表 15. 研究発表、まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	統計学の図鑑　技術評論社				
参考書	リハビリテーション統計学　中山書店				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	卒業研究			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	3 年　前・後期	単位	3　単位	回数・時間数	45 回　（ 90　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	・理学療法士に必要な知識・技術を整理し、理解を深める。				
行動目標 （SBOs）	・国家試験受験に向けて、出題傾向をとらえ学習計画を立て、実行できる。				
授業概要	1-2：国家試験の出題傾向の把握と1年間の学習計画作成 3-12：理学療法に関する手技演習 13-22：基礎医学、臨床医学についての復習・まとめ 23-32：理学療法専門分野の知識・技術の復習とまとめ 33-45:個々の課題分析と課題演習				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習を実施する。				
学習評価 （EV）	提出物および取組態度 80%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし				
参考書	国家試験および模擬試験問題等				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法業務運営管理			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	松村一・工藤英司 #N/A		実務経験 の 内 容	#N/A	
一般目標 （GIO）	理学療法業務に関わる運営や管理を理解する				
行動目標 （SBOs）	1、診療報酬や介護報酬の制度の理解 2、リスクマネージメントについての理解 3、理学療法と組織(運営側や他部署)の関わりの理解				
授業概要	1、　2　理学療法士と運営管理業務① 3、　4　理学療法士と運営管理業務② 5、　6　診療報酬と介護報酬① 7、　8　診療報酬と介護報酬② 9、10　診療報酬と介護報酬③ 11、12　診療報酬と介護報酬④ 13、14　リスクマネージメント① 15、16　リスクマネージメント② 17、18　リスクマネージメント③ 19、20　リスクマネージメント④ 21、22　リスクマネージメント⑤ 23、24　理学療法業務と管理運営① 25、26　理学療法業務と管理運営② 27、28　理学療法業務と管理運営③ 29、30　まとめ①、②				
学習方略 （LS）					
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション管理学 医学書院				
参考書	資料配布等				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅰ			授業区分	演習
学年・時期	1 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	理学療法の意義を理解し、個々の評価方法、判断をし患者の全体像を把握できる				
行動目標 （SBOs）	・理学療法評価の意義を理解する。 ・理学療法評価の手技・判断が理解する。				
授業概要	・理学療法評価の意義 ・一般的評価事項 ・バイタルサイン ・形態測定 ・痛みの評価 ・感覚検査 ・整形外科疾患試験 ・高次脳機能検査 ・片麻痺機能検査 ・脳機能検査 ・統合と解釈				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	定期テストおよび実技テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学　第 3 版				
参考書	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学　第 3 版				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅱ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	疾患特性から種々の評価選定、実施し、その結果が ADSL にどのような影響を与えているか統合することにより、予後予測を含めて包括的に捉える。				
行動目標 （SBOs）	1：個々の疾患の概略を理解し、説明できる。 2：個々の疾患、障害に応じた評価項目の意義を理解し、説明できる。 3：評価結果のとらえ方を説明でき、その結果を解釈できる。				
授業概要	1-2：理学療法Ⅰの復習 3-6：脳卒中の理学療法評価について 7-14：運動器疾患に対する評価について 15-18：神経疾患に対する評価について 19-20：スポーツ外傷・障害に対する評価について 21-24：高齢者の体力、廃用症候群に対する評価 25-30：模擬患者での評価演習・まとめ				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	定期テストおよび実技テストにて総合的に判断				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学　第 3 版				
参考書	国家試験問題集等				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅲ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	3 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	総合実習Ⅰ・Ⅱを実施したことのより、知識・技術の再確認と不足部分の補いを行い、理学療法士としての評価法を確立させる。				
行動目標 （SBOs）	疾患特性に応じた、理学療法評価を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。 実際の症例に対し、効果的なプランニングを図る事ができるようになる。				
授業概要	評価実習・総合実習Ⅰ、Ⅱで実施してきたチェックリスト、ポートフォリオ、ソーシャル評価を再確認し各学生間で情報を共有しながらディスカッション、実技の実際、解釈の確認などを行っていく。				
学習方略 （LS）	講義、実技を含む				
学習評価 （EV）	実習報告書・レポート提出				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床運動学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	・臨床での基本的な動作分析を理解する ・動作遂行能力の診断、動作異常要素の原因追究を行う				
行動目標 （SBOs）	・力学的動作が説明できる ・動作分析の思考過程を明らかにし、事例を通して動作分析を理解する ・代表的な疾患を通して動作の特徴を理解する				
授業概要	1、2　正常動作の観察と分析 3、4　臨床における動作分析の進め方 5、6　臨床における動作分析の進め方-動作分析の展開 7、8　臨床における動作分析の進め方-動作分析の実際 9、　疾患・症状別異常動作の特徴-脳血管障害片麻痺の動作 10、疾患・症状別異常動作の特徴-対麻痺の動作 11、疾患・症状別異常動作の特徴-完全四肢麻痺の動作 12、疾患・症状別異常動作の特徴-不全四肢麻痺の動作 13、疾患・症状別異常動作の特徴-下肢荷重関節の障害と動作 14、疾患・症状別異常動作の特徴-高齢者・パーキンソン症状の動作 15、疾患・症状別異常動作の特徴-小児疾患の動作				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度、試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	動作分析　臨床活用講座　バイオメカニズムに基づく臨床推論の実践				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	日常生活技術論			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回　（ 30 時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験の内容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	理学療法の中で障害と ADL の関連性を正しくとらえることは、個々のライフスタイルに合わせたアプローチをするうえで重要である。ADL の概要及びその範囲、ADL 評価、ADL 支援機器、疾患特性に応じた ADL の指導方法等を学習する。				
行動目標 （SBOs）	1：ADL の概要について理解し、説明できる。 2：ICIDH・ICF と ADL との関連について理解する。 3：ADL と QOL の関係を理解する。 4：ADL に必要な運動学の視点を理解し、介助方法について運動学的説明ができる。 5：主な ADL 評価を説明できる。 6：ADL を支援する機器の役割を理解できる。 7：代表的な理学療法対象疾患の特性を理解し指導方法を説明できる。 8：在宅生活復帰に必要な退院・退所前の評価の要点と ADL 指導内容およびその際の留意事項について説明できる。				
授業概要	1：ADL の概要と範囲、ADL と障害 2：ADL と QOL 3：ADL と運動学 4：基本動作の指導方法 5：ADL 評価 6：ADL 支援機器：自助具・日常生活用具 7：ADL 支援機器：歩行補助具 8：ADL 支援機器：車椅子 9：片麻痺の AD 10：関節リウマチの ADL 11：人工股関節全置換術（THA）後の ADL 12：神経筋疾患・難病の ADL 13：ロービジョンの ADL 14：在宅生活に向けた ADL 指導 15：まとめ				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら 1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	定期テストおよびレポートにて総合的に判断				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	編集：鶴見隆正　隆島研吾　「標準理学療法学　日常生活活動学・生活環境学　第 5 版」 医学書院				
参考書	編集：伊藤利之・江藤文夫　「新版　日常生活活動（ADL）第 2 版　評価と支援の実際」 医歯薬出版 編集：臼田　滋　「理学療法学テキスト　日常生活活動学」 メディカルビュー社 国家試験問題集等				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療演習ＩＡ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・関節可動域測定の意義を理解する ・徒手筋力検査の意義を理解する				
行動目標 （SBOs）	・関節可動域測定において基本軸、移動軸を理解し確実にテストすることが出来る ・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る				
授業概要	1. 関節可動域測定①　肩甲帯・上肢 2. 関節可動域測定②　肩甲帯・上肢 3. 関節可動域測定③　肩甲帯・上肢 4. 関節可動域測定④　頸部・体幹 5. 関節可動域測定⑤　頸部・体幹 6. 関節可動域測定⑥　頸部・体幹 7. 関節可動域測定⑦　手指 8. 徒手筋力検査法　頸部・体幹　講義 9. 徒手筋力検査法　頸部・体幹　実技 10. 徒手筋力検査法　上肢①　講義 11. 徒手筋力検査法　上肢①　実技 12. 徒手筋力検査法　上肢②　講義 13. 徒手筋力検査法　上肢②　実技 14. 徒手筋力検査法　上肢③　講義 15. 徒手筋力検査法　上肢③　実技				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法評価学　改訂第 5 版 新・徒手筋力検査法　第 9 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ＩＢ			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	・関節可動域測定の意義を理解する ・徒手筋力検査の意義を理解する				
行動目標 （SBOs）	・関節可動域測定において基本軸・移動軸を理解し確実にテストすることが出来る ・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る				
授業概要	1. 関節可動域測定①　下肢 2. 関節可動域測定②　下肢 3. 関節可動域測定③　下肢 4. 関節可動域測定④　下肢 5. 関節可動域測定⑤　下肢 6. 徒手筋力検査法　下肢　講義① 7. 徒手筋力検査法　下肢　実技① 8. 徒手筋力検査法　下肢　講義② 9. 徒手筋力検査法　下肢　実技② 10. 徒手筋力検査法　下肢　講義③ 11. 徒手筋力検査法　下肢　実技③ 12. 徒手筋力検査法　下肢　講義④ 13. 徒手筋力検査法　下肢　実技④ 14. 徒手筋力検査法　下肢　講義⑤ 15. 徒手筋力検査法　下肢　実技⑤				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法評価学　改訂第 5 版 新・徒手筋力検査法　第 9 版				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ⅡA			授業区分	演習
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	理学療法士として必要な実践力を養う				
行動目標 （SBOs）	1. 情報収集によって、得られた情報から問題点を概ね説明することができる。 2. 必要な検査の選択が学習者によって概ね提示することができる。 3. 必要な検査を学習者自身が安全に実施することが概ねできる。 4. 検査結果の解釈について、学習者自身が概ね説明することができる。 5. 適切な治療計画について、学習者が概ね立案できる。 6. 今後の理学療法計画に関して、インフォームド・コンセントとして学習者自身が概ね実施できる。				
授業概要	1.OSCE について 2-3.コミュニケーション技法 4-5：医療面接 6-7：脈拍と血圧の測定 8-9：ROM 測定 10-11：MMT 測定 12：感覚検査 13：腱反射 14：BRS 15：立位バランス検査				
学習方略 （LS）	提示した模擬患者にて課題に対する演習およびディスカッション				
学習評価 （EV）	取組態度 10%、実技テスト 90%で総合的に評価				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	監修：細田多穂 「シンプル理学療法学シリーズ　理学療法評価学テキスト　改訂第 2 版」 南江堂				
参考書	PT・OT のための臨床技能と OSCE 金原出版株式会社				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ⅡB			授業区分	演習
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	理学療法士として必要な実践力を養う				
行動目標 （SBOs）	1. 情報収集によって、得られた情報から問題点を概ね説明することができる。 2. 必要な検査の選択が学習者によって概ね提示することができる。 3. 必要な検査を学習者自身が安全に実施することが概ねできる。 4. 検査結果の解釈について、学習者自身が概ね説明することができる。 5. 適切な治療計画について、学習者が概ね立案できる。 6. 今後の理学療法計画に関して、インフォームド・コンセントとして学習者自身が概ね実施できる。				
授業概要	1-10：動作分析（起き上がり、立ち上がり、歩行） 11-15：まとめ				
学習方略 （LS）	提示した模擬患者にて課題に対する演習およびディスカッション				
学習評価 （EV）	取組態度 10%、実技テスト 90%で総合的に評価				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	監修：細田多穂 「シンプル理学療法学シリーズ　理学療法評価学テキスト　改訂第 2 版」 南江堂				
参考書	PT・OT のための臨床技能と OSCE 金原出版株式会社				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（脊椎疾患）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　壽夫 t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院）	
一般目標 （GIO）	・重篤な症状が発現し、広範囲なリハビリテーションを必要とする脊髄障害の病態や評価そして理学療法を理解し、技術を習得する。				
行動目標 （SBOs）	・脊髄損傷の状態を理解し、説明することが出来る。障害状態に応じた理学療法が実施できるようになること。 ・脊椎に特有な多くの疾患を理解する。				
授業概要	1. 脊髄損傷の基礎的知識 2. 理学療法評価 3. 呼吸理学療法 4. 理学療法（治療指導） 5. 車いす処方と練習 6. 精神・心理的適応とアプローチ 7. 排尿・尿路障害 8. 性機能障害への援助 9. 脊髄損傷とスポーツ 10. 脊髄損傷と自動車運転 11. 脊髄損傷以外の脊椎疾患 ・変形性脊椎症 ・椎間板ヘルニア ・脊椎分離症 ・脊椎すべり症 ・その他、臨床で多く認められる脊椎疾患 12. 画像読影 13. B L S				
学習方略 （LS）	・脊髄損傷を中心に、臨床で多くみかれる脊椎疾患を学ぶ。				
学習評価 （EV）	・基礎知識のテスト、および応用的な実技テストで評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・特に、指定なし				
参考書	・標準理学療法学・作業療法学（第 4 版）「整形外科学」（医学書院） ・「脊髄損傷の理学療法」（医歯薬出版）				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（整形外科・スポーツ）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	三谷　典生 ahpta2017@yahoo.co.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（衣笠病院、一関病院）	
一般目標 （GIO）	検査手技や動きの特徴から、運動器に影響を与える変化を理解できる				
行動目標 （SBOs）	・検査手技の方法、目的を理解する ・検査手技の手順を理解する ・運動器症状に沿った検査方法を提示できる ・スポーツ活動に特徴的な外傷、障害に関する知識を持つことができる				
授業概要	1：頸部・胸部の検査Ⅰ 2：頸部・胸部の検査Ⅱ 3：頸部・胸部の検査Ⅲ 4：腰部・骨盤の検査Ⅰ 5：腰部・骨盤の検査Ⅱ 6：腰部・骨盤の検査Ⅲ 7：上肢の検査Ⅰ 8：上肢の検査Ⅱ 9：上肢の検査Ⅲ 10：下肢の検査Ⅰ 11：下肢の検査Ⅱ 12：下肢の検査Ⅲ 13：スポーツ外傷の競技別特徴 14：競技別外傷・予防 15：各検査方法の復習				
学習方略 （LS）	所定の単位数あたりで題材にした内容の座学的な学習と実技をセットで行い、技術定着を図る				
学習評価 （EV）	定期テストにて総合的に評価（実技試験のみの判定を用いる場合もあり）				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	下記テキストを参照（内容に関しては学校指定教科書に重複するため、各自参照をする）				
参考書	①スポーツリハビリテーションの臨床 ,青木治人（監修），清水邦明（監修），鈴川仁人（編集） メディカルサイエンスインターナショナル ②整形外科テスト ポケットマニュアル臨床で使える徒手的検査法 86,高橋 仁美（著），金子 奈央（著） 医歯薬出版 ③スポーツ安全協会　日本体育協会　スポーツ外傷・障害予防ガイドブック				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（脳血管疾患）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	脳の構造と機能について理解、損傷部位によりどのような経過をたどって回復に至るかについて理解し、具体的な運動療法立案できる。				
行動目標 （SBOs）	・脳の機能と運動障害の関係について整理。 ・運動障害となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の理解。 ・リハビリテーションを行う意義についての理解。 ・治療時のリスク管理が行える。				
授業概要	1：中枢神経障害の全容 2：脳血管障害とは 3：脳血管障害の診断～急性期治療 4・5：片麻痺患者の評価 6～9：運動療法の実技演習 10：パーキンソン病とは 11：パーキンソン病の理学療法 12：運動失調とは 13：小脳性運動失調の理学療法 14：頭部外傷・脳腫瘍・低酸素脳症 15：多発性硬化症等神経筋疾患について				
学習方略 （LS）	理学療法ガイドライン、EBM に基づく治療技術を習得できるよう実技演習をふまえて実施				
学習評価 （EV）	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ　中山書店				
参考書	・脳卒中最前線―急性期の診断からリハビリテーションまで―　第 4 版　医歯薬出版 ・Crosslink　理学療法学テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱメディカルビュー社 ・脳卒中　基礎知識から最新リハビリテーションまで　医歯薬出版 ・病気がみえる　vol.7 脳・神経　　メディックメディア				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（内部障害）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	内部障害の病態を理解し臨床現場で必要な知識と技能の習得を目指す。				
行動目標 （SBOs）	1）呼吸機疾患の病態を理解し理学療法評価と治療を習得する。 2）循環器疾患の病態、病期にあわせて適切に理学療法評価と治療を習得する。 3）腎不全の病態生理を理解し、適切な理学療法評価と治療を習得する。 4）糖尿病と重要な合併症を理解した上で、糖尿病に対する適切な運動療法と生活指導を習得する。 5)がんの分類・特徴について理解し、がんのリハビリテーションの対象となる障害について習得する。				
授業概要	第1回　　オリエンテーション 第1章　内部障害理学療法学総論 第2回　　第1章　内部障害理学療法学総論 第3回～第 12 回　第2章　呼吸機能障害と理学療法 第 13 回～第 15 回　第5章　がんのリハビリテーション 第 16 回～第 27 回　第3章　循環機能障害と理学療法 第 28 回～第 30 回　第4章　代謝障害と理学療法				
学習方略 （LS）	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 （EV）	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	「最新理学療法学講座　内部障害理学療法学 」 高橋哲也（編）　医歯薬出版（株）				
参考書	適宜紹介する。				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論（小児疾患）			授業区分	講義（演習含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	・人間発達学および小児科学で学習した内容を踏まえて、理学療法士として特に臨床場面で携わる疾患の症状、理学療法評価と治療について説明できる。				
行動目標 （SBOs）	1　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の臨床症状について説明できる 2　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の臨床症状から理学療法評価が出来る 3　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の理学療法評価から治療プログラムを立案できる 4　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の理学療法を実践できる				
授業概要	1　脳性まひ総論 2　脳性まひ痙直型 3　脳性まひアテトーゼ型 4　子供の整形外科疾患 5　知的障がい児とその他の発達障がい児 6　子供の遺伝性疾患 7　重症心身障害児 8　子供の呼吸障害 9　発達障害の療育体系と療育指導				
学習方略 （LS）	これまで学んできた「人間発達学」「小児科学」「理学療法評価法」「運動療法」で学んだ知識と技術が要求されます。各教科書を参照しながら実技を通して学習すること。				
学習評価 （EV）	最終試験（筆記試験）で総評する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	シンプル理学療法学シリーズ「小児理学療法学テキスト」改訂第3版				
参考書	標準理学療法学・作業療法学「小児科学」第 5 版　　イラストでわかる人間発達学 理学療法評価学テキスト　改訂第2版　　標準理学療法学　　運動療法学総論				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	運動療法総論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	1 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	・運動療法の概念を理解する ・運動療法の特徴ならびに障害に対する運動療法の適応を理解する				
行動目標 （SBOs）	・基本的運動を分類することができる ・種々の基本的運動についてその定義、特徴を述べることができる				
授業概要	1. 運動療法の歴史・概念（定義）・位置付け 2. 運動療法の基礎 3. 関節可動域運動① 4. 関節可動域運動② 5. 筋力増強運動① 6. 筋力増強運動② 7. 筋力増強運動③ 8. 筋力増強　研究① 9. 筋力増強　研究② 10. 筋力増強　研究③ 11. 筋力増強　研究④ 12. 持久力増強① 13. 持久力増強② 14. 協調性運動 15. まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学　運動療法学　総論				
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	物理療法学Ⅰ			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	物理療法の目的を理解したうえで、理学療法で多く実施されるマッサージ療法を実施できる				
行動目標 （SBOs）	1 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 2 徒手マッサージの治療目的を理解できる 3 徒手マッサージの適応、禁忌、注意点を　説明できる 4 マッサージを実施するにあたり、結合組織等解剖学を理解できる				
授業概要	1 物理療法の臨床適用の流れ 2 物理療法の対象 3 疼痛のメカニズムと評価 4 マッサージ療法				
学習方略 （LS）	物理療法は評価と効果判定が重要です。 基礎知識が重要。 各教科書を参考にしながら学んでください。				
学習評価 （EV）	各単元ごとの小テストと実技試験で総評する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト物理療法学・実習				
参考書	標準理学療法学・作業療法学「解剖学」第 5 版　医学書院 人体解剖アトラス 南江堂				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	物理療法学Ⅱ			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる。				
行動目標 （SBOs）	各種療法の特徴、適応、禁忌、操作手順を理解でき、操作できる				
授業概要	1　伝導熱：ホットパック、パラフィン浴 2　輻射熱：赤外線療法 3　エネルギー変換熱：超短波療法、極超短波療法 4　光線療法：紫外線療法、レーザー療法 5　寒冷療法 6　水治療法 7　超音波療法 8　電気刺激療法 9　牽引療法 10　リスク管理				
学習方略 （LS）	他の教科で学ぶ各疾患の知識が必要となります。各教科書を参考にしながら復習し理解してください				
学習評価 （EV）	各単元ごとの小テストと実技試験で総評する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト物理療法学・実習				
参考書	配布する資料				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	義肢学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	切断のリハビリテーションにおいて、理学療法士は、断端機能を改善させ、適合した義肢で生活動作が獲得できるよう、理学療法を実施する				
行動目標 （SBOs）	①四肢切断に関する医学的知識を理解する ②アライメントの概念を理解する ③義肢の構造と各部品について理解する ④下肢切断者の理学療法を理解する ⑤上肢切断への理学療法のかかわりを理解する ⑥社会資源について理解する				
授業概要	1. 切断と義肢の基礎知識 2. 早期義肢装着法と義足適合の流れ－アライメントの概念 3. 大腿切断・膝離断の基本と義足構造 4. 大腿義足・膝義足のアライメント 5. 下腿切断・サイム切断の基本と義足構造 6. 下腿義足・サイム切断のアライメント 7. 股離断・片側骨盤切除・足部切断の義足構造とアライメント 8. 下肢切断の評価－問題点の抽出とその統合 9. 下肢切断の機能障害と義足装着前理学療法 10. 切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点 11. 義足装着理学療法と応用動作 12. 義手の分類と構造・機能 13. 上肢切断の評価と治療 14. 義肢装具の支給体系とチームアプローチ 15. 講義のまとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト　義肢学　石川　朗				
参考書	義肢装具学　第 2 版　千住秀明				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	装具学			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　後期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	骨関節疾患や脳・神経筋疾患などにより運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるようになるために、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。装具の適合についてチェックアウトの方法を習得する。				
行動目標 （SBOs）	・装具の目的について理解する ・装具の 3 点固定の原理について理解する ・装具制作の流れについて理解する ・装具療法におけるチームアプローチについて理解する ・歩行のバイオメカニクスについて理解する				
授業概要	1. 装具学総論 2. 下肢装具の部品 3. 短下肢装具 4. 長下肢装具・股装具・膝装具 5. 靴型装具 6. 下肢装具のチェックアウト 7. 下肢装具のチェックアウト-実習 8. 体幹装具・側弯症装具 9. 上肢装具と自助具 10. 車椅子・歩行補助具 11. 疾患別装具の処方（1）-脳卒中片麻痺の装具 12. 疾患別装具の処方（2）-整形外科疾患の装具 13. 疾患別装具の処方（3）-関節リウマチの装具 14. 疾患別の処方（4）-対麻痺・小児の装具 15. 講義まとめ				
学習方略 （LS）	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 （EV）	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト 第 2 版　石川 朗				
参考書	義肢装具学 第 2 版 千住秀明				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	理学療法特論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	3 年　前・後期	単位	2　単位	回数・時間数	30 回　（ 60　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	千葉恵美子：総合実習Ⅰ・Ⅱを実施するにあたって、今まで学んできた知識の整理、実技の復習を実施する。臨床ではどのような場面で危険が隠れているか予測できるようになること。				
行動目標 （SBOs）	千葉恵美子：疾患特性に応じた、理学療法を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。				
授業概要	1-2：理学療法総論 3-8：脳卒中の評価および理学療法について 9-14：整形外科疾患の評価および理学療法について 15-18：呼吸器疾患の評価および理学療法について 19-22：循環器疾患の評価および理学療法について 23-26：廃用症候群の評価および理学療法について 27-30：在宅生活支援について				
学習方略 （LS）	千葉恵美子：講義、実技を含む				
学習評価 （EV）	実技テストおよびレポート提出				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	千葉恵美子：適宜紹介				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	地域リハビリテーション論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	3 年　前期・後期	単位	1　単位	回数・時間数	30 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	地域リハビリテーションにおける各サービスのしくみと理学療法士の役割について理解できる				
行動目標 （SBOs）	介護保険サービスと介護予防と健康増進について事例を通して理解して説明できる				
授業概要	1. 介護保険のしくみ 2. 地域包括ケアシステム 3. 地域リハビリテーション関連職種 4. 介護老人施設 5. デイケア・デイサービス 6. 介護予防				
学習方略 （LS）	地域リハビリテーションは重要な位置づけです。臨床実習や就職施設でも理解しておく必要があります。				
学習評価 （EV）	症例報告またはレポートで総評する				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	シンプル理学療法学シリーズ「地域リハビリテーション学テキスト」改訂第3版				
参考書	配布する資料				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	予防医学			授業区分	講義
学年・時期	3 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	予防的見地にたった理学療法の基本となる考え方、基礎知識、評価、アプローチについて理解できる。				
行動目標 （SBOs）	1)介護予防について理解する。 2)産業理学療法について理解する。				
授業概要	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 予防理学療法とは 第 3 回 産業理学療法とは 第 4 回 高齢期における予防理学療法 第 5 回 高齢期における予防理学療法 第 6 回 高齢期における予防理学療法 第 7 回 壮年期における予防理学療法 第 8 回 学童期・思春期における予防理学療法 第 9 回 産業理学療法の理解のために 第10回 産業理学療法の実際 第11回 産業理学療法の実際 第12回 産業理学療法の実際 第13回 産業理学療法の実際 第14回 まとめ① 第15回 まとめ②				
学習方略 （LS）	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 （EV）	レポート80%および取組態度20%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	予防と産業の理学療法南江堂				
参考書	適宜紹介				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	生活環境論			授業区分	講義（実技含み）
学年・時期	2 年　前期	単位	1　単位	回数・時間数	15 回　（ 30　時間）
担当教員 mail	千葉　恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーション）	
一般目標 （GIO）	私たちが生活するうえで環境はとても重要である。理学療法士として地域リハビリテーションを展開するうえで、現在の社会的背景を理解し、個々に考えられるバリア、地域環境をいかに改善するための立案・提案方法を実践的に習得する。				
行動目標 （SBOs）	1：生活環境の概念について説明できる。 2：社会状況と諸制度について説明できる。 3：バリアフリーデザイン、ユニバーサリデザインについて説明できる。 4：居住環境の整備の一般知識と障害、疾患別の環境調整のポイントについて説明できる。 5：福祉用具・社会生活用用具等の種類や活用方法について説明できる。 6：障害から環境調整の設計図を書き、その理由をプレゼンテーションできる。				
授業概要	1：生活環境の概念 2：関連法制度について 3：関連法制度について(介護保険中心に) 4：生活環境の基礎(ICFの生活要因の位置付けも含み) 5：地域における生活環境整備 6：福祉用具の種類と活用(機器関係のリスク管理含み) 7：介護保険制度における福祉用具貸与と住宅改修について 8：ベッド周辺環境の福祉用具と移乗・移動（実技中心） 9：ベッド周辺環境の福祉用具と移乗・移動（実技中心） 10：環境整備例(障害・疾患別) 11：環境整備例(障害・疾患別) 12-13：フィールドワーク 14：フィールドワーク結果のプレゼンテーション 15：まとめ				
学習方略 （LS）	教科書および実技での学習 〇学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986） カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 （EV）	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	福祉住環境コーディネーター検定試験　2級公式テキスト　東京商工会議所編				
参考書	OT・PT のための宇う環境整備論　第3版　三輪書店				

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅰ（見学）			授業区分	実習
学年・時期	1 年　後期	単位	1 単位	回数・時間数	22 回　（ 45 時間）
担当教員 mail	松村　一 pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標 （GIO）	医療・保健・福祉機関の見学を主とし臨床実習指導者をはじめ関係スタッフ、対象者（患者、利用者）との関わりを通して、医療従事者としての基本的な態度や言葉遣いについて学び、また理学療法士としての資質を養うことを目的とする。病院・施設の機構・組織、理学療法士の業務及び活動分野における役割を理解することを目的とする。				
行動目標 （SBOs）	理学療法士（学生）としての適性・資質の評価				
授業概要	1　理学療法の対象者との関係性構築1. 清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる2共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる3. 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる4. 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる5. 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる6. 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心掛けることができるⅡ. チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割1. 医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる2. 部門におけるルールを理解し、診療プロセス（処方の確認、計画書、効果判定、カルテ記録、算定手順など）を理解した言動をとることができる3. 臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる　4. 積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる5. インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる6. 守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる7. 臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる				
学習方略 （LS）					
学習評価 （EV）	成績評価基準 優 ————わずかな助言・指導を与えればできた 良 ————時々助言・指導を与えればできた 可 ————多くの助言・指導を与えればできた 不可————多くの助言・指導を与えても従わずできなかった				
単位認定の 方 法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅱ（評価）			授業区分	実習
学年・時期	2 年　後期	単位	4 単位	回数・時間数	90 回　（ 180 時間）
担当教員 mail	中村　貴子 t-nakamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（宮城県公衆衛生協会、松園第一病院、北上済生会病院）	
一般目標 （GIO）	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 2. 職場における理が羽療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚のある言動を取ることができる。 3. 理学療法の流れを理解するとともに臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目（水準Ⅰ）において、リスク管理、理学療法評価、理学療法治療技術を実践することができる。 5. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）における理学療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を理解することができる。				
行動目標 （SBOs）	1-① 清潔で適切な身だしなみ、ことば遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 1-② 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 1-③ 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 1-④ 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対 して適切 に応答することができる 1-⑤ 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 1-⑥ 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる 2-① 医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる 2-②部門におけるルールを理解し，診療プロセス（処方の確認、計画書、効果判定、カルテ 記録、算定手 順など）を理解した言動をとることができる 2-③ 臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる 2-④ 積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる 2-⑤ インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる 2-⑥ 守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる 2-⑦ 臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる 3-① 検査項目・情報収集項目の抽出・取捨選択の理由を説明することができる 3-② 検査結果の関連性について説明することができる 3-③ 対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明することができる 3-④ 対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明することができる 3-⑤ 理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明することができる 3-⑥ 理学療法の即時効果を確認し、その内容について説明することができる 3-⑦ 実施内容を診療記録に記載することができる 3-⑧ カンファレンスでの症例提示内容について説明することができる 4-① スタンダードプリコーション（標準予防策）が実施できる 4-② バイタルサインの計測を実施することができる 4-③ 意識レベルの評価を見学し、 可能ならば実施することができる				

	4-④ 各種モニターの使用ができる 4-⑤ 情報収集(診療記録、画像所見、部門内、他部門を含む)を実施することができる 4-⑥ フィジカルアセスメント(問診・視診・聴診・触診)を実施することができる 4-⑦ 基本的な検査測定を実施することができる ・形態計測・感覚検査・反射検査・筋緊張検査・関節可 動域計測 ・筋力検査・運動耐容能 4-⑧ 姿勢観察を実施することができる 4-⑨ 動作観察を実施することができる 4-⑩ 疼痛の評価を実施することができる 4-⑪ 日常生活活動評価(手段的日常生活活動を含む)を実施することができる 4-⑫ 運動器疾患に関する個別検査を実施することができる 4-⑬ 中枢神経疾患に関する個別検査を実施することができる 4-⑭ 内部障害に関する個別検査を実施することができる 4-⑮ 各種発達評価を実施することができる 5-①通所リハビリテーション利用者(個別、集団)に対する理学療法を見学することができる 5-② 通所リハビリテーション利用者に対する理学療法の一部を経験することができる 5-③ 訪問リハビリテーション利用者に対する理学療法を見学することができる 5-④ 訪問リハビリテーション利用者に対する理学療法の一部を経験することができる 5-⑤ ケアプランの立案過程を見学することができる
授業概要	1. 動作介助(誘導補助)技術 2. リスク管理技術 3. 理学療法治療技術(検査・測定技術) 4. 理学療法治療技術(運動療法技術) 5. 物理療法技術 6. 義肢・装具・福祉用具・環境整備技術 7. 救命救急技術 8. 地域・産業・学校保健技術
学習方略 (LS)	
学習評価 (EV)	実習前後の OSCR 評価、実習指導報告書、実習報告会の内容を踏まえて、総合的に評価する。
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。
教科書	
参考書	

令和4年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　　理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅲ（総合）			授業区分	実習
学年・時期	3 年　前・後期	単位	16　単位	回数・時間数	360 回　（ 720　時間）
担当教員 mail	工藤　英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標 （GIO）	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 2. 職場における理が羽療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚のある言動を取ることができる。 3. 理学療法の流れを理解するとともに臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目（水準Ⅰ）において、リスク管理、理学療法評価、理学療法治療技術を実践することができる。 5. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム（特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション）における理学療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を理解することができる。				
行動目標 （SBOs）	1-①　清潔で適切な身だしなみ、ことば遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 1-②　共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 1-③　周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 1-④　自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対 して適切 に応答することができる 1-⑤　対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 1-⑥　対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる 2-①　医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる 2-②部門におけるルールを理解し，診療プロセス（処方の確認、計画書、効果判定、カルテ 記録、算定手 順など）を理解した言動をとることができる 2-③　臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる 2-④　積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる 2-⑤　インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる 2-⑥　守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる 2-⑦　臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる 3-①　検査項目・情報収集項目の抽出・取捨選択の理由を説明することができる 3-②　検査結果の関連性について説明することができる 3-③　対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明することができる 3-④　対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明することができる 3-⑤　理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明することができる 3-⑥　理学療法の即時効果を確認し、その内容について説明することができる 3-⑦　実施内容を診療記録に記載することができる 3-⑧　カンファレンスでの症例提示内容について説明することができる 4-①　スタンダードプリコーション（標準予防策）が実施できる 4-②　バイタルサインの計測を実施することができる 4-③　意識レベルの評価を見学し、 可能ならば実施することができる				

	4-④ 各種モニターの使用ができる 4-⑤ 情報収集(診療記録、画像所見、部門内、他部門を含む)を実施することができる 4-⑥ フィジカルアセスメント(問診・視診・聴診・触診)を実施することができる 4-⑦ 基本的な検査測定を実施することができる ・形態計測・感覚検査・反射検査・筋緊張検査・関節可 動域計測 ・筋力検査・運動耐容能 4-⑧ 姿勢観察を実施することができる 4-⑨ 動作観察を実施することができる 4-⑩ 疼痛の評価を実施することができる 4-⑪ 日常生活活動評価(手段的日常生活活動を含む)を実施することができる 4-⑫ 運動器疾患に関する個別検査を実施することができる 4-⑬ 中枢神経疾患に関する個別検査を実施することができる 4-⑭ 内部障害に関する個別検査を実施することができる 4-⑮ 各種発達評価を実施することができる 5-①通所リハビリテーション利用者(個別、集団)に対する理学療法を見学することができる 5-② 通所リハビリテーション利用者に対する理学療法の一部を経験することができる 5-③ 訪問リハビリテーション利用者に対する理学療法を見学することができる 5-④ 訪問リハビリテーション利用者に対する理学療法の一部を経験することができる 5-⑤ ケアプランの立案過程を見学することができる
授業概要	1. 動作介助(誘導補助)技術 2. リスク管理技術 3. 理学療法治療技術(検査・測定技術) 4. 理学療法治療技術(運動療法技術) 5. 物理療法技術 6. 義肢・装具・福祉用具・環境整備技術 7. 救命救急技術 8. 地域・産業・学校保健技術
学習方略 (LS)	
学習評価 (EV)	実習前後の OSCR 評価、実習指導報告書、実習報告会の内容を踏まえて、総合的に評価する。
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。
教科書	
参考書	